

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



地球温暖化と虫たちの生息域拡大 — 都市衛生に求められる備え

気候変動は自然環境だけでなく、私たちの暮らしのあり方にも影響を及ぼし始めています。冬の寒さがやわらぎ、季節の境界があいまいになるなか、都市の環境バランスも少しずつ揺らいでいます。本号では、地球温暖化がもたらす虫たちの生息域の変化と、これからの都市衛生に求められる備えについてお伝えします。

気候変動による虫の生息域拡大と衛生リスク

地球温暖化の進行に伴い、虫の生息域は年々広がっています。これまで確認されなかった地域でも蚊やマダニが見られ、デング熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）などの感染症リスクが拡大しています。さらに、ダニやゴキブリが引き起こすアレルギー、トコジラミによる皮膚炎や睡眠障害といった身近な健康被害も増加しています。都市インフラへの影響も顕在化しています。下水道やごみ処理施設などの“生活熱”が虫の越冬を助長し、公園や河川周辺では繁殖環境が拡大。こうした変化は、都市の機能や生活の持続性にも影響を与えています。地球温暖化はもはや「環境問題」にとどまらず、私たちの健康・生活・産業を支える都市衛生上の重要課題となりつつあります。

世界でも進む生息域の拡大

虫の分布拡大は日本に限らず、世界各地で観測されています。これまで蚊の繁殖が難しいとされてきたアイスランドでも、今年10月に3匹の蚊が確認されたと国営放送RUVが報じました。凍結と融解を繰り返す過酷な気候環境での発見は、温暖化の影響が北極圏にまで及んでいることを示唆しています。



(画像) アイスランドで初めて蚊が観測された場所：キョース渓谷

温暖化を止める努力、そして止められない現実

近年、世界の平均気温は産業革命以前と比べて約1.5℃上昇しており、2024年は観測史上もっとも暖かい年となりました。日本でも、年平均気温は過去100年で約1.3℃上昇し、地域によっては春や秋の期間が短縮しています。CO₂削減や再生可能エネルギーの導入など、温暖化を抑える取り組みは世界規模で進んでいます。しかしその一方で、気温上昇の影響はすでに私たちの生活に表れています。「温暖化を止める努力」を継続しながら、同時に進行する変化に備える具体的な行動が求められています。現代の都市衛生には、“防ぐ”だけでなく“備える”視点が不可欠です。

“見つけてから”ではなく、“発生させない”都市衛生へ

気候変動による環境の変化は、もはや遠い未来の話ではありません。都市に暮らす私たちは、虫の増加や感染症リスクと共存する現実と直面しています。これからの都市衛生に求められるのは、発生後の対処ではなく、科学的な予防と継続的なモニタリングです。

人と自然がともに生きる都市環境を守るためには、“予防”の力が不可欠です。気候変動によって虫の生息域が変化し、衛生リスクが新たな形で顕在化しつつあるいま、温暖化防止の取り組みと並行して「備え」を強化することが、これからの都市の持続可能性を支えます。

私たちシェルグループは、都市衛生のプロフェッショナルとして、予防・モニタリング・技術を核とした総合的な取り組みを通じて、人と自然が共存する都市環境づくりに貢献します。



展示会出展レポート

「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO 2025」に出展

2025年11月19日から21日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2025」に出展しました。

今年は、建築計画の初期段階から衛生リスクを設計に組み込み、建物全体の“有害生物発生リスクを軽減”する新サービス『ペストコンサルテーション』をメインテーマとして紹介。あわせてトコジラミ対策商材『トコジラぬ』など、予防を重視した最新の取り組みを展示、紹介しました。

展示会概要

「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO」は、ビルメンテナンス業界最大級の展示会であり、清掃・衛生・DXなどの最新情報を発信する場です。

今回の来場者数は15,273名（同時開催イベントを含めると39,766名）に達し、会場は多くの業界関係者で賑わいました。

ペストコンサルテーションの強み

ペストコンサルテーションは、害虫獣の侵入・繁殖を未然に防ぐサービスです。着工前から竣工後のアフターメンテナンスまでを一貫してサポートし、以下の価値を提供します。

- ・ 建築現場や地域特性に応じた柔軟な予防設計
- ・ 是正提案や改善指導によるリスクの最小化
- ・ 施設の長期的な衛生品質維持

単なる駆除にとどまらず、建築の付加価値向上や環境配慮型施設づくりへの貢献を可能にする点が特徴です。



来場者の反響

展示会全体ではDXや省人化が注目を集めていました。一方で、害虫獣の侵入リスクを建築段階で適切に把握するためには「人の知識と経験」が不可欠であるという点に多くの来場者が強く共感されました。その結果、ペストコンサルテーションへの関心は非常に高く、具体的な導入検討や事例相談が数多く寄せられました。

また、トコジラミ被害は以前の流行期に比べれば落ち着いているものの、予防商材へのニーズは依然として強く、弊社ブースでも「トコジラぬ」に関する質問や相談を多くいただきました。

今後の展示会出展予定

次回は2026年2月開催の「国際ホテルレストランショー」に出展予定です。宿泊施設・観光業界に向けて、ペストコンサルテーションとトコジラミ対策を軸に、予防型の都市衛生の重要性をさらに広く発信していきます。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目昆虫館館長



チャバナフエダシャク
(茶翅冬枝尺蛾)
チョウ目シャクガ科
学名: *Erannis golda*

オスは和名の通り茶色の翅を持ついたって普通のシャクガだが、メスは完全に無翅で白黒模様をしている。フエダシャクは天敵が少ない冬に活動できるように進化したと考えられている。また、メスが飛ぶ能力を失ったのは気温が低いと卵を持つ重い体で飛ぶのが難しくなるから、という説が有力である。

Information

● Pick up 展示会・セミナー情報

JAPAN BUILD TOKYO

ー 建築・土木・不動産の先端技術展 ー

会期: 2025年12月10日(水)~12月12日(金)

会場: 東京ビッグサイト

▶▶ [詳細はこちら](#)



2025年PCO・TCO基礎セミナー (Webセミナー)

※環境機器株式会社 主催

日時: 2025年12月18日(木)~19日(金)

▶▶ [詳細はこちら](#)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

